ふかまちのまど

第二十四号
九六年
四月一日

六年ごとに　脱皮する

深町町内会連合会
会長　小林徳蔵

新年度を迎えましたが皆さまお元気ですか。深町が学園町と呼ばれるようになって脱皮をはじめてから六年、一昨年は基礎一分間、過ぎました時間は六十秒、時間数にして六六〇時間となっています。

ふかまちのまど

「校舎と共に」（四）

――校庭の庭木――

石井哲代

昭和二十七年赴任してこられた青木先生は、新校舎建設の計画段階から、校庭の庭木にも思いを寄せられ、植樹の位置や種類を決められました。

「校庭の庭木は、子供たちの情操を育てるものでなければならない。」

「校庭の庭木は、子供たちの情操を育てるものでなければならない。」

と言われ、校庭の庭木は、子供たちの情操を育てるものでなければならない。